

## 横浜市宿泊療養施設での外出事案の発生について

本日、横浜市宿泊療養施設に入所している40代男性が約30分間建物外へ出る事案がありました。なお、本人はその後戻り、現在は療養を継続しています。

### 1 発生日

令和3年3月1日（月）午前0時頃

### 2 経過

0時02分 2階の外通路から外階段に出る門扉が開き警報機鳴動。

※入所者は施設内のレッドゾーン（入所者以外は防護服を着用して行動するエリア）とグリーンゾーン（防護服を着用しないで行動できるエリア）の仕切り（ビニール素材）を壁の接着面から剥がしグリーンゾーンに侵入。グリーンゾーン内の窓から外通路へ出たと推測される。

0時08分 入所者がゲート脇の植え込み部分から敷地外へ出る。

0時14分 入所者が敷地内へ戻る（同じ場所から）。

0時27分 当直事務と警備員が入所者と接触。施設職員と一緒に部屋に戻る。

その後、入所者に確認したところ、「睡眠剤を飲んだが眠れず帰ろうと思った」との発言があったが、どこから外へ出たか、敷地外で何をしたか、どこへ立ち寄ったかは「睡眠剤を飲んでおり何も覚えていない」とのこと。

### 3 該当者療養期間

令和3年2月27日（土）～

### 4 今後の対応

本日中に、レッドゾーンとグリーンゾーン間にある仕切りにセンサーを設置し、仕切りを動かしたことをすぐ把握できるようにします。

お問合せ先

健康福祉局 健康安全課 担当課長 江口 洋人 045-331-1993